

平成27年度
(平成26年度事業対象)

教育委員会事務の点検・評価

報告書

北竜町教育委員会

目 次

1. 趣 旨	1
2. 点検・評価の対象	1
3. 点検・評価の実施方法	1

平成27年度（平成26年度事業）主要施策の「点検・評価」

1. 学校教育の充実	2
2. 生涯学習の推進	6
3. 社会教育の充実	7
4. 芸術文化の振興	9
5. スポーツ・レクリエーションの振興	10

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の開催状況	12
(2) 条例、規則等の制定及び改定の状況	12
(3) 教育委員の活動状況	14
(4) 平成26年度 北竜町教育委員会議案一覧表	17

平成27年度（平成26年度事業対象）生涯学習推進事業・社会教育・芸術文化事業 社会体育事業 自己点検・評価一覧表

(1) 生涯学習推進事業	19
(2) 社会教育	19
(3) 文化芸術	23
(4) 社会体育	24
外部評価（活動評価委員）意見総評	28

1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会は、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっています。

北竜町教育委員会は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため毎年度、教育委員会事務の点検・評価を行い、学識経験者の意見を付して報告書を作成・公表することいたしました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2. 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等の点検のほかに、平成26年度教育行政執行方針に掲げた主要な事業実施状況について点検・評価を実施いたしました。

3. 点検・評価の実施方法

点検・評価報告書については、平成26年度教育行政執行方針に掲げられた主要な事業及び各事業の基本施策に基づく、内容、成果、自己評価・課題等を所管係が作成するとともに、点検・評価の客観性を確保するため、点検評価方法や結果などについて、学識経験を有する者（活動評価委員）からも意見を聴取しています。

評価ランク

- A ~ 充分達成した
- B ~ 概ね達成した
- C ~ やや達成した
- D ~ 達成に向けて努力している
- E ~ 取り組み無し

社会教育、社会体育事業の自己評価一覧表 評価ランク

- 5 ~ 充分達成した
- 4 ~ 概ね達成した
- 3 ~ やや達成した
- 2 ~ 達成に向けて努力している
- 1 ~ 取り組み無し

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価																						
1. 学校教育の充実 1) 教育条件の整備 ア) 学力の向上と定着	<p>子どもたちの「確かな学力」を育てるため学習環境の向上と定着に努めた。</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果は、小中学校とも全国・全道を上回る状況でありました。この結果を基に、各学校では学習指導方法の工夫改善を進めるほか、各学校においても、自校独自の学校改善プランを作成するなど、基礎学力の定着・向上に努めた。</p>	引き続き、学習指導方法の工夫改善、長期休業中の学習サポート、家庭との連携等を推進していくとともに、質の高い校内研修を促進し、教職員の指導力の向上に努めていく。	A																						
イ) 学校施設の整備	<p>子どもたちがより良い環境の中で、充実した教育が受けられるよう、小学校においては、校舎内を明るくするため廊下の部分の柱と壁の塗装を行った。</p> <p>また、北空知圏学校給食組合の給食供用開始に向けて小中学校の玄関スロープの改修を行った。</p> <p>小学校施設設備の改修状況</p> <table> <tbody> <tr> <td>玄関スロープ工事</td> <td>756 千円</td> </tr> <tr> <td>校舎内柱等塗装工事</td> <td>972 千円</td> </tr> <tr> <td>特別教室網戸設置工事</td> <td>138 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>中学校施設設備の改修状況</p> <table> <tbody> <tr> <td>玄関スロープ工事</td> <td>1,037 千円</td> </tr> <tr> <td>気中開閉器取替工事</td> <td>583 千円</td> </tr> <tr> <td>教室網戸設置工事</td> <td>238 千円</td> </tr> </tbody> </table>	玄関スロープ工事	756 千円	校舎内柱等塗装工事	972 千円	特別教室網戸設置工事	138 千円	玄関スロープ工事	1,037 千円	気中開閉器取替工事	583 千円	教室網戸設置工事	238 千円	<p>町内小中学校施設の耐震補強工事については完了しているが、町の総合計画に沿って、年次的に改修工事を進めていく。</p> <p>また緊急を要する修繕や軽微な修繕等は整備に努めていく。</p>	B										
玄関スロープ工事	756 千円																								
校舎内柱等塗装工事	972 千円																								
特別教室網戸設置工事	138 千円																								
玄関スロープ工事	1,037 千円																								
気中開閉器取替工事	583 千円																								
教室網戸設置工事	238 千円																								
ウ) 教材・教具等の整備	<p>子どもたちの能力と適正に応じた学習強化を高めるため、教材・教具の整備を図ってきた。</p> <p>小学校教材備品等の整備状況</p> <table> <tbody> <tr> <td>スマートブック（1 台）</td> <td>35 千円</td> </tr> <tr> <td>トレーニングタイマー用フロアスタンド（1 本）</td> <td>17 千円</td> </tr> <tr> <td>グランドレーキ（5 本）</td> <td>25 千円</td> </tr> <tr> <td>カラーダイヤ（2 個）</td> <td>60 千円</td> </tr> <tr> <td>カラーダイヤ用ポンプ（1 個）</td> <td>12 千円</td> </tr> <tr> <td>児童用図書</td> <td>150 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>中学校教材備品等の整備状況</p> <table> <tbody> <tr> <td>チューバ（1 台）</td> <td>356 千円</td> </tr> <tr> <td>体操マット（2 枚）</td> <td>102 千円</td> </tr> <tr> <td>譜面台（24 台）</td> <td>256 千円</td> </tr> <tr> <td>生徒用図書</td> <td>133 千円</td> </tr> <tr> <td>透明立体模型（1 個）</td> <td>35 千円</td> </tr> </tbody> </table>	スマートブック（1 台）	35 千円	トレーニングタイマー用フロアスタンド（1 本）	17 千円	グランドレーキ（5 本）	25 千円	カラーダイヤ（2 個）	60 千円	カラーダイヤ用ポンプ（1 個）	12 千円	児童用図書	150 千円	チューバ（1 台）	356 千円	体操マット（2 枚）	102 千円	譜面台（24 台）	256 千円	生徒用図書	133 千円	透明立体模型（1 個）	35 千円	今後も必要に応じた備品や教材については学校と連携し教材教具の整備を図っていく。	B
スマートブック（1 台）	35 千円																								
トレーニングタイマー用フロアスタンド（1 本）	17 千円																								
グランドレーキ（5 本）	25 千円																								
カラーダイヤ（2 個）	60 千円																								
カラーダイヤ用ポンプ（1 個）	12 千円																								
児童用図書	150 千円																								
チューバ（1 台）	356 千円																								
体操マット（2 枚）	102 千円																								
譜面台（24 台）	256 千円																								
生徒用図書	133 千円																								
透明立体模型（1 個）	35 千円																								

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
エ) 通学対策等の整備 2) 教育内容の充実 ア) 学ぶ意欲を育て個性を生かす教育の推進	<p>「美葉牛線」「竜西線」「碧水線」地域公共交通として、一般住民との住民混乗方式を実施している。</p> <p>竜西線バスについては、老朽化と児童の減少により、14人乗りの小型バスに変更し更新を行った。</p> <p>安全運転と事故防止に努め、全町的な視点に立った児童生徒の通学対策に努めた。</p> <p>スクールバス購入費 3,380千円</p> <p>児童生徒に対して異文化に慣れ親しむための環境づくりを推進するため、外国語指導助手（ALT）1名を中学校を拠点として配置し、各学校の授業、保育所や学童保育での活用をはかり、英語の発音などに慣れ親しみ、異文化理解やコミュニケーション能力の育成に努めた。</p> <p>外国語指導助手派遣委託業務 4,930千円</p> <p>中学校の世界のひまわりの栽培は、管理状態も良く、大変良い評価を受けており、観光案内や職業体験を実施している。小学校の総合学習では、野菜の栽培を行った。</p> <p>社会科において郷土愛の醸成のため副読本の改訂版を作成した。</p> <p>多くの子ども達に夢を持つ素晴らしさを伝える「夢の教室」では、元コンサドーレの大森健作氏を招き実施した。</p> <p>また、優れた芸術の鑑賞機会の提供としてミュージカル劇団四季の「キャッツ」鑑賞会を実施した。</p> <p>夢の教室 239千円 (9月30日開催 中学3年生対象) 文化鑑賞会（キャッツ） 196千円 (3月21日開催 小学生・中学生対象)</p>	<p>利用者を考慮し計画的にバスの更新を図っていく。また、通学路やバスの運行に関しても事故防止に向けて通学対策に努める。</p> <p>国際社会に対応できる人材の育成のため、引き続き外国語指導助手を小中学校及び学童保育や保育所へ派遣を行う。</p> <p>児童、生徒の郷土愛と自尊心の育成のため、地域の教材や学習環境を積極的に活用し、学習活動を継続して行っていく。</p> <p>子どもたちに夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向かって努力しようとする意識や態度を育むため継続して実施していく。</p> <p>また、優れた芸術に触ることによって豊かな情操を育むと共に、芸術に対する興味・関心を高めていく。</p>	B A

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価												
イ)道徳教育の充実	<p>「私たちの道徳」の効果的な活用により、心に響く道徳教の充実を図り、児童生徒が、互いを尊重し協力し合うなど、豊かな人間関係を構築しながら、自己を成長させていく、「豊かな心」の育成に努めた。</p> <p>いじめ防止対策推進法が施行され、各学校においては、「学校いじめ基本方針」が策定された。町においても北竜町いじめ防止対策基本方針」を策定した。</p> <p>「いじめ根絶リーダーズキャンプ イン空知」等の研修会に子どもたちの派遣を行った。</p>	<p>小中学校では、特別活動（学級活・児童生徒会活動・学校行事等）を通じて調和の取れた発達、望ましい人間関係の構築等を行い、総合的な学習時間においても、自ら考え主体的に判断する力の育成に努めて行く。</p> <p>本町は、小中各 1 校しかない中で、人間関係が一度形成されると、継続した関係が続くため、各種情報の共有を図り、学校・教育委員会及び地域との連携を深め、地域全体でいじめの未然防止・早期発見に努めて行くことが必要である。</p>	B												
ウ)特別支教育の整備と特別教育支援員の配置	<p>一人ひとりの教育的なニーズに応じた適正な学習機会の確保ときめ細やかな教育が実施されるよう支援を行った。又、通常学級に在籍する教育的支援が必要な児童に対しても、就学指導の検討・協議が充実して行われ、学級担任が配慮して指導することに加え、特別支援教育支援員を小学校に 2 名配置して指導の補助を行った。</p>	<p>障害者だけではなく、幅広い学習支援も行うため、学習の支援員配置を行う。</p>	B												
エ)準要保護児童生徒就学援助	<p>経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し支援を図った。</p> <p>準要保護児童生徒就学援助状況</p> <table> <tbody> <tr> <td>小学校 1 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 準要保護児童支援負担額</td> <td>21 千円</td> </tr> <tr> <td> 児童学校給食費助成金</td> <td>38 千円</td> </tr> <tr> <td>中学校 4 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 準要保護生徒支援負担額</td> <td>381 千円</td> </tr> <tr> <td> 生徒学校給食費助成金</td> <td>184 千円</td> </tr> </tbody> </table>	小学校 1 名		準要保護児童支援負担額	21 千円	児童学校給食費助成金	38 千円	中学校 4 名		準要保護生徒支援負担額	381 千円	生徒学校給食費助成金	184 千円	<p>準要保護児童生徒の学用品等及び給食費の負担軽減を継続していく。</p>	A
小学校 1 名															
準要保護児童支援負担額	21 千円														
児童学校給食費助成金	38 千円														
中学校 4 名															
準要保護生徒支援負担額	381 千円														
生徒学校給食費助成金	184 千円														

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

総務・学校教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価								
オ)児童生徒の学校給食の充実・支援	<p>北空知学校給食組合による、地域の農産物を使用し、栄養バランスのとれた安心・安全な給食を提供すると共に給食費の助成を行い保護者の負担軽減を図った。</p> <p>平成 27 年 4 月から北空知学校給食組合に代わり、北空知圏学校給食組合（深川市・妹背牛町・秩父別町・沼田町・北竜町）の共用開始に向けての準備をおこなった。</p> <p>各給食組合の負担額及び給食費助成の状況</p> <table> <tbody> <tr> <td>北空知学校給食組合負担金</td> <td>6,580 千円</td> </tr> <tr> <td>北空知圏学校給食組合負担金</td> <td>89,291 千円</td> </tr> <tr> <td>小学校児童生徒給食費助成金</td> <td>1,465 千円</td> </tr> <tr> <td>中学校生徒給食費助成金</td> <td>955 千円</td> </tr> </tbody> </table>	北空知学校給食組合負担金	6,580 千円	北空知圏学校給食組合負担金	89,291 千円	小学校児童生徒給食費助成金	1,465 千円	中学校生徒給食費助成金	955 千円	北空知圏学校給食は完全給食となりますが、子育て支援として引き続き給食費の助成を行う。	A
北空知学校給食組合負担金	6,580 千円										
北空知圏学校給食組合負担金	89,291 千円										
小学校児童生徒給食費助成金	1,465 千円										
中学校生徒給食費助成金	955 千円										
カ)奨学資金貸付事業の支援	<p>奨学資金貸付事業につきましては、学習意欲が高く、向学心に燃える子どもたちに対し、経済的な理由によって、将来の夢を閉ざされることがないよう、貸付を実施し、支援に努めた。</p> <p>奨学資金貸付状況</p> <table> <tbody> <tr> <td>平成 26 年度貸付金額</td> <td>6,720 千円</td> </tr> <tr> <td>大学 13 人・短大 3 人・高校 1 人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平成 26 年度貸付金額	6,720 千円	大学 13 人・短大 3 人・高校 1 人		今後も事業の継続を行い支援していく。	A				
平成 26 年度貸付金額	6,720 千円										
大学 13 人・短大 3 人・高校 1 人											
キ)教職員の研修と福利厚生の充実	<p>教職員の資質向上を目的とした研修会・研究会への参加の奨励及び北竜町教育振興会の充実を図るため、事業の助成と教職員の健康診断の助成を行った。</p> <p>平成 26 年度教職員への助成状況</p> <table> <tbody> <tr> <td>校長会・教頭会助成金</td> <td>170 千円</td> </tr> <tr> <td>教育振興会補助金</td> <td>561 千円</td> </tr> <tr> <td>教職員健康診断負担金</td> <td>398 千円</td> </tr> <tr> <td>教職員人間ドック助成</td> <td>36 千円</td> </tr> </tbody> </table>	校長会・教頭会助成金	170 千円	教育振興会補助金	561 千円	教職員健康診断負担金	398 千円	教職員人間ドック助成	36 千円	更に教員の専門性を高める研修会に積極的に参加出来る体制づくりの支援を図り、多様化する教育に対応出来るよう、継続的に支援していく。	A
校長会・教頭会助成金	170 千円										
教育振興会補助金	561 千円										
教職員健康診断負担金	398 千円										
教職員人間ドック助成	36 千円										

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
2. 生涯学習の推進 1) 多様な学習機会の提供と学習情報の提供	「いつでも」「どこでも」「だれでも」自由に学べることを基本に、公民館講座やひまわり大学、自主的なサークル活動の奨励など、学習機会の提供に努めた。また、広報誌による各種事業の実施状況や生涯学習カレンダーや防災無線で学習情報の提供を行った。	自主的なサークル活動についても高齢化と会員の減少となっている。 町民が興味を持って気軽に参加することのできる学習内容の工夫と通年に亘り学ぶことのできる活動の工夫が急務となっている。 また、生涯学習情報の提供発信を工夫していくことが必要である。	B
2) 生涯学習の推進体制の充実	生涯学習推進本部の調整機関として社会教育委員に役割を担っていただき、事業の反省や評価を頂き、平成 26 年から 30 年までの第 5 次北竜町社会教育中期計画を策定し計画に沿って実施をしている。	町民の学習ニーズに効果的に応えられる体制づくりと、人づくり、町づくりを町民参加型の協働で行く必要がある。	B

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
3. 社会教育の充実 1) 青少年教育 ア) 学習活動機会の提供	<p>次代を担う青少年の育成を図るため、学校・家庭・地域が一体となって連携し、豊かな人間性や社会性を身に付ける学習機会や情報提供の充実が必要である。</p> <p>子どもたち自らが自主的に参加できるリーダー的な資質の養成を目的とした、子ども会主催によるリーダー研修会やジュニアリーダー研修会等への参加の推進を図った。</p> <p>北空知シニアリーダー研修助成金 40 千円</p>	時代に即した活動の取り組みと主体性や協調性、創造性を身に付ける必要な研修会の開催や各種研修への派遣、情報の提供に努める。	B
イ) 異世代間交流機会の提供	高齢者の経験を活かした知識と能力を伝承するため、子どもと高齢者のふれあい事業を実施し、見学体験旅行や農園づくり・昔の遊び・餅つきなどの体験学習を行った。	各種行事の開催日が、土日曜であるため、今後とも各少年団との連携を図り、子ども達が参加出来る体制づくりを図っていく。	B
ウ) 団体組織の強化と指導者の育成	<p>子どもたちの健やかな成長と健全な育成を図るため、子ども会育成連絡協議会や各種スポーツ少年団において、目的にあった活動を行っている。</p> <p>また、各組織に携わる指導者の資質向上のため、研修会・講習会に派遣し、スポーツの振興と子どもの健全育成に努めている。</p> <p>北竜町子ども会育成連絡協議会 122 千円 北竜町スポーツ少年団（2 団体） (野球 18 人 バレーボール 15 人) 130 千円</p>	少子化による各種行事及び活動に支障を期たしている状況であるため、今後も組織の育成と指導者の養成と人材発掘に努める。	B
2) 成人教育学習機会の提供と指導体制の充実	個人の価値観の多様化の中で、生活意識や社会生活の関わりも複雑化しており、成人教育の果たす役割は重要であることから、ボランティアや文化活動など活躍する場を提供了。	成人教育の充実を図るには、学習ニーズの把握と計画的な学習や講座の開設のために指導者の発掘と養成を行って行く。	B

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
3) 家庭教育学習機会の充実と提供	<p>子どもの発達段階に応じた、親の子育てに対する支援を強化し、しあわせな家庭環境づくりを支援するため、子育て支援サークルなどを活用し、明るく豊かな家庭づくりのため、学校・住民課や保育所などの団体と連携し、家庭教育学習の活動支援を図った。</p> <p>実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 ・読み聞かせ教室 ・ピカピカキッズ 	<p>親子のふれあいの機会の充実や学習機会を提供し、子どもの心身の発達段階にふさわしい適切な教育の推進と社会生活に必要な基本的習慣を身につけさせる活動の場を今後も継続し、支援を行う必要がある。家庭教育学級については、北竜町 P T A 連合会と連携して開講をして行く。</p>	B
4) 高齢者教育学習機会の提供	<p>生きがいを高める学習活動としてのひまわり大学については、多くの方々に参加頂けるよう学習内容の充実を図り、楽しく学習出来る環境づくりに努めた。</p> <p>実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり大学 ・生きがいセミナー 	<p>高齢者層は、年々増えているので、高齢者の学習ニーズと魅力ある高齢者教育の推進が必要である。</p>	B
5) 社会教育施設の管理	<p>公民館を拠点に地区公民館として碧水生きがいセンター・美葉牛地域農業研修センター・恵岱別都市と農村交流センターがある。</p> <p>なお、恵岱別地区公民館については、町内会の合併により今年限りで廃止となった。</p> <p>また、美葉牛地域農業研修センターについては耐震・大規模改修と駐車場の整備を行った。</p> <p>美葉牛研修センター耐震・大規模改修事業 80,784 千円</p> <p>美葉牛研修センター駐車場整備 16,965 千円</p>	<p>老朽化している社会教育施設については、計画的な改修を行って行く。</p>	B

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会教育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
4. 芸術・文化の振興 1) 創作・発表活動の充実 2) 芸術・文化の鑑賞機会の拡充	<p>町民が芸術・文化活動を推進するために、活動や発表の場を提供し、文化連盟をはじめ各グループ等の自主的な活動を支援し、各種講座の開設、町民文化祭の開催などの事業を実施した。</p> <p>芸術・文化に触れる機会の提供と、創作発表の場の提供を行った、また「芸術の旅」として子どもの文化鑑賞会と合わせ、劇団四季「キャッツ」の鑑賞機会を提供した。 子どもたちには、町民文化祭で映画鑑賞会も行った。</p>	<p>町民自らが生涯学習の観点に立って芸術文化活動へ積極的に参加出来る体制づくりが必要であり、学習機会の提供や指導者の育成と自主的な活動に対しても支援を行っていく。</p> <p>豊かな心を育み潤いのあるまちづくりを目指した文化活動を推進するために、優れた芸術にふれ合う機会の提供を行っていく。</p>	B B

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会体育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価
5. スポーツ・レクリエーションの振興 1) 生涯スポーツの普及	子どもから高齢者まで一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しみ、参加する機会の提供に努めた。	各種関係機関との連携を図り、年代に応じた各種スポーツ教室の開催や団体との交流機会を多く提供していく。	B
2) スポーツ指導体制の強化	町民主体のスポーツ活動の一層の活性化を促進するため、スポーツ少年団などスポーツ団体組織の育成を図るとともに、指導者の育成確保に努めた。少年野球では指導者が 1 名増えた。	各種団体と連携しスポーツ指導者の養成と資質向上を図るため、研修会・講習会への派遣を継続していく。	C
3) スポーツ振興への支援	町内のスポーツ振興を図るため、各種団体への補助金支出及び少年野球教室を実施した。 体育協会主催の北商ロードレースでは、ホクレンスポーツアンバサダーの赤羽有紀子さん招き第 50 回記念大会を実施したことに対して助成を行った。 パークゴルフ協会も創立 20 周年を迎えて助成を行った。 バレー ボールス ポーツ少年団「ドラゴンキッズ」が全道・道北大会に合わせて 3 回出場し、大会参加の助成を行った。また、平成 24 年度に制定した北竜町スポーツ賞（奨励賞）の該当としてドラゴンキッズの表彰を行った。 スポーツ振興団体への補助金 北竜町体育協会 200 千円 北商ロードレース第 50 回記念大会助成 720 千円 パークゴルフ協会創立 20 周年記念事業助成 50 千円 第 34 回道新カップ北海道小学生バレー ボール道北大会出場助成 213 千円 少年野球教室開催負担金 30 千円	町内のスポーツ振興を図るため、各種団体への補助金及び支援を実施していく。	B

平成 27 年度（平成 26 年度事業）主要施策の「点検・評価」

社会体育係

主要施策	事業の実施状況・成果	事業の課題・改善策	評価																						
4) 施設の管理及び維持	<p>社会体育施設の管理運営は、指定管理者により効率的に行っている。</p> <p>B & G 海洋センターの老朽化により B & G 財団の助成を受け、濾過器の交換とシャワールーム・更衣室など改修工事を行った。</p> <p>パークゴルフ場については、スタート台の購入や休憩棟の補修工事を行った。</p> <p>社会体育関係施設の指定管理状況</p> <table> <tbody> <tr> <td>海洋センター(プール)</td> <td>3,608 千円</td> </tr> <tr> <td>野球場</td> <td>3,023 千円</td> </tr> <tr> <td>スキー場</td> <td>2,695 千円</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場</td> <td>6,378 千円</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td>1,257 千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16,961 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>改修等工事</p> <table> <tbody> <tr> <td>B & G 海洋センター改修工事</td> <td>29,160 千円</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場休憩所改修工事</td> <td>690 千円</td> </tr> <tr> <td>ゲートボール場コート整備補修工事</td> <td>410 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>備品購入</p> <table> <tbody> <tr> <td>パークゴルフ場パレット式スタート台 (9 台)</td> <td>388 千円</td> </tr> <tr> <td>B & G 海洋センター自動体外式除細動器 (1 台)</td> <td>322 千円</td> </tr> </tbody> </table>	海洋センター(プール)	3,608 千円	野球場	3,023 千円	スキー場	2,695 千円	パークゴルフ場	6,378 千円	消費税	1,257 千円	合計	16,961 千円	B & G 海洋センター改修工事	29,160 千円	パークゴルフ場休憩所改修工事	690 千円	ゲートボール場コート整備補修工事	410 千円	パークゴルフ場パレット式スタート台 (9 台)	388 千円	B & G 海洋センター自動体外式除細動器 (1 台)	322 千円	<p>施設の利用申請・許可及び管理運営は指定管理者により管理が行われておらず継続して行っていく。</p> <p>各施設については、老朽化して来ているので計画的な改修を行っていく。</p>	B
海洋センター(プール)	3,608 千円																								
野球場	3,023 千円																								
スキー場	2,695 千円																								
パークゴルフ場	6,378 千円																								
消費税	1,257 千円																								
合計	16,961 千円																								
B & G 海洋センター改修工事	29,160 千円																								
パークゴルフ場休憩所改修工事	690 千円																								
ゲートボール場コート整備補修工事	410 千円																								
パークゴルフ場パレット式スタート台 (9 台)	388 千円																								
B & G 海洋センター自動体外式除細動器 (1 台)	322 千円																								

教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の開催状況及び審議件数

北竜町教育委員会の会議は、年10回の定例会及び特に必要と認められた場合に臨時会を開催しております。本年度の臨時会は、1回開催しております。

(開催期間 平成26年4月～平成27年3月)

会 議	年 月 日	報告件数	承認	議案件数	選挙
第4回定例会	平成26年 4月30日	1		6	
第5回定例会	平成26年 6月 9日	1		5	
第6回定例会	平成26年 7月28日	2		2	
第7回定例会	平成26年 8月27日	1		1	
第2回臨時会	平成26年 10月 1日				1
第8回定例会	平成26年 10月29日	2		2	1
第9回定例会	平成26年 11月27日	1		9	
第10回定例会	平成26年 12月16日	2	2		
第1回定例会	平成27年 1月28日	1		3	
第2回定例会	平成27年 2月18日	1	2(協議1)	10	
第3回定例会	平成27年 3月27日	1	2	3	
合 計		13	6(協議1)	41	2

(2) 条例、規則等の制定・改定状況

平成26年度条例、規則等の制定及び一部改正については、条例改正3件、規則改正12件、要綱制定2件、要綱改正1件、要領制定1件、要項改正1件、規約改正3件の計22件となっております。

- ・北竜町社会教育委員に関する条例の一部改正について (平成26年 4月 1日施行)
- ・北竜町立学校管理規則の一部改正について (平成26年 4月 1日施行)
- ・修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要項の一部改正について (平成26年 4月 1日施行)
- ・北竜町立学校管理規則の一部改正について (平成26年 6月28日施行)
- ・北竜町スクールバス運行に関する規則の一部改正について (平成26年12月 1日施行)
- ・北竜町コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例等一部改正について (平成26年12月 1日施行)
- ・北竜町スクールバス運行に関する規則の一部改正について (平成26年12月 1日施行)
- ・北竜町立学校管理規則の一部改正について (平成26年12月 1日施行)
- ・北空知圏学校給食組合規約の改正について (平成26年12月 1日施行)
- ・北竜町学習支援員配置要綱の制定について (平成26年12月 1日施行)

・北竜町いじめ問題対策連絡協議会設置要綱の制定について	(平成26年12月 1日施行)
・北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正について	(平成27年 4月 1日施行)
・北竜町学校給食費助成事業実施要綱の一部改正について	(平成27年 4月 1日施行)
・北竜町教育委員会公告式規則の一部改正について	(平成27年 4月 1日施行)
・北竜町教育委員会会議規則の一部改正について	(平成27年 4月 1日施行)
・北竜町教育委員会事務局規則の一部改正について	(平成27年 4月 1日施行)
・教育委員会の職務に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部改正について	(平成27年 4月 1日施行)
・北竜町生涯学習振興基金の運用に関する規則の一部改正について	(平成27年 4月 1日施行)
・北竜町公民館条例施行規則の一部改正について	(平成27年 4月 1日施行)
・北竜町スクールバス運行に関する規則の運行時刻の一部変更について	(平成27年 4月 1日施行)
・北空知圏学校給食組合規約の一部変更に関する協議について	(平成27年 4月 1日施行)
・北空知学校給食組合規約の一部変更に関する協議について	(平成27年 4月 1日施行)
・北竜町児童生徒各種検定助成事業実施要領の制定について	(平成27年 4月 1日施行)

(4) 平成26年度 北竜町教育委員会議案一覧表

会議名	開催日	開催時間	議案番号	議件名
定例第4回	平成26年4月30日	16時00分	報告第4号	教育行政報告について
			議案第9号	北竜町社会教育委員に関する条例の一部改正について
			議案第10号	北竜町社会教育委員の会議運営に関する規則の一部改正について
			議案第11号	北竜町立学校管理規則の一部改正について
			議案第12号	修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要項の一部改正について
			議案第13号	準要保護児童生徒の認定について
			議案第14号	奨学生の選定について
			協議事項	各種行事の日程調整について
定例第5回	平成26年6月9日	17時00分	報告第5号	教育行政報告について
			議案第15号	奨学生の選定について
			議案第16号	北竜町スポーツ推進委員の解任について
			議案第17号	北竜町学校評議委員の解任について
			議案第18号	北竜町学校評議委員の委嘱について
			議案第19号	平成26年度教育費補正予算(第1号)の要請について
			協議事項	各種行事の日程調整について
定例第6回	平成26年7月26日	16時00分	報告第6号	教育行政報告について
			報告第7号	中体連体育大会の成績報告について
			議案第20号	北竜町立学校管理規則の一部改正について
			議案第21号	平成27年度から使用される小学校用教科用図書の採択について
			協議事項	各種行事の日程調整について
定例第7回	平成26年8月27日	16時30分	報告第8号	教育行政報告について
			議案第22号	平成26年度教育費補正予算(第2号)の要請について
			協議事項	各種行事の日程調整について
臨時第2回	平成26年10月1日	9時00分	選挙第1号	教育委員長職務代理者の選挙について
			協議事項	各種行事の日程調整について
定例第8回	平成26年10月29日	16時00分	報告第9号	教育行政報告について
			報告第10号	全国学力・学習調査分析、検証について
			選挙第2号	教育委員長の選挙について
			議案第23号	北竜町スクールバス運行に関する規則の一部改正について
			議案第24号	北竜町スポーツ推進委員の委嘱について
			協議事項	各種行事の日程調整について
			報告第12号	教育行政報告について
定例第9回	平成26年11月27日	16時00分	議案第25号	北竜町コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例等一部改正について
			議案第26号	北竜町スクールバス運行に関する規則の一部改正について
			議案第27号	北竜町立学校管理規則の一部改正について
			議案第28号	北空知圏学校給食組合規約の改正について
			議案第29号	北竜町學習支援員配置要綱の制定について

会議名	開催日	開催時間	議案番号	議件名
定例第9回	平成26年11月27日	16時00分	議案第30号	北竜町いじめ防止基本方針の策定について
			議案第31号	北竜町いじめ問題対策連絡協議会設置要綱の制定について
			議案第32号	北空知地域いじめ問題対策専門家会議の共同設置について（北空知地域いじめ問題調査会議の共同設置について）
			議案第33号	平成26年度補正予算（第3号）の要請について
			協議事項	各種行事の日程調整について
定例第10回	平成26年12月16日	16時00分	報告第12号	教育行政報告について
			報告第13号	北空知圏給食組合給食センター建築の進捗状況及び給食費の設定について
			承認第3号	北空知圏給食組合規約変更にかかる意見の承認について
			承認第4号	平成26年度（平成25年度事業対象）教育委員会事務の点検・評価報告書の承認について
			協議事項	各種行事の日程調整について
定例第1回	平成27年1月28日	16時00分	報告第1号	教育行政報告について
			議案第1号	北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正について
			議案第2号	北竜町学校給食費助成事業実施要綱の一部改正について
			議案第3号	北竜町スポーツ賞（奨励賞）表彰の決定について
			協議事項	各種行事の日程調整について
定例第2回	平成27年2月18日	16時00分	報告第2号	教育行政報告について
			協議第1号	平成27年度教育行政執行方針について
			承認第1号	北竜町スクールバス運行に関する規則の運行時刻の一部変更について
			議案第4号	北竜町教育委員会公告式規則の一部改正について
			議案第5号	北竜町教育委員会会議規則の一部改正について
			議案第6号	北竜町教育委員会事務局規則の一部改正について
			議案第7号	教育委員会の職務に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部改正について
			議案第8号	北竜町生涯学習振興基金の運用に関する規則の一部改正について
			議案第9号	北竜町公民館条例施行規則の一部改正について
			議案第10号	北空知圏学校給食組合規約の一部変更に関する協議について
			議案第11号	北空知学校給食組合規約の一部変更に関する協議について
			議案第12号	平成26年度教育費補正予算（第5号）の要請について
			議案第13号	平成27年度教育予算の要請について
			協議事項	各種行事の日程調整について
定例第3回	平成27年3月27日	15時40分	報告第3号	教育行政報告について
			承認第2号	北空知学校給食組合規約の変更にかかる意見の承認について
			承認第3号	北空知圏学校給食組合規約の変更にかかる意見の承認について
			議案第14号	北竜町教育委員会活動評価委員の委嘱について
			議案第15号	平成27年度北竜町立学校評議委員の委嘱について
			議案第16号	北竜町児童生徒各種検定助成事業実施要領の制定について
			協議事項	各種行事の日程調整について

平成26年度 北竜町社会教育事業実施内容

生涯学習推進事業

No.1

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	生涯学習の推進	生涯学習が設置され、生涯学習の町づくりへの推進について基本的な方向が示されています。町民に「いつでも・だれでも・どこでも・なんでも」学習のできる環境の整備を図る。	通年		一般			1)各機関で行われている事業・行事の見直し 2)事業・行事の連携に向けての協議	昨年度に策定した第5次北竜町社会教育中期計画に基づき、生涯学習の推進をはかった。 今後も環境整備等を努めていきたい。	1 2 3 ④ 5
2	生涯学習カレンダーの発行	生涯学習を実施している関係機関の活動内容を知らせ、計画的に学習活動に参加する意識を喚起する	年3回発行		一般			町、学校、社会教育団体、農業団体、商工団体等の行事を掲載 第1回 5月1日発行 5月～8月分 第2回 9月1日発行 9月～12月分 第3回 12月26日発行 1月～3月分	町内全戸・事業所等に配布した。事前に町内の各事業を周知することにより、町民へ計画的な事業参加を図ることが出来ている。	1 2 ③ 4 5
3	生涯学習だよりの発行	毎月行われる生涯学習状況を、広く住民に知らせるとともに、参加を促す。	毎月1回発行		一般			毎月1回広報ほりゅうに掲載し全戸配付	実施した事業の様子や状況などを町民に伝えることが出来る貴重な場となっており、今後も町民に周知を図る。	1 2 ③ 4 5
4	生涯学習振興事業助成	教育振興と住民の生涯学習を推進し、町民の心を健全な発達と明るく豊かな住民生活の形成に寄与する。	通年		一般			生涯学習振興基金の活用 ①文化振興・イベント開催に関する事業 ②スポーツ等に関する事業 ③伝統・文化保存に関する事業 ④人材育成に関する事業 ⑤産業振興に関する事業 ⑥独創的な町づくり事業 ⑦生涯学習振興に関する事業	・職員特別研修会 ・人材育成事業分 ・職員研修負担金 等に生涯学習振興基金を活用しました。	1 2 ③ 4 5

社会教育

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	子どもと高齢者のふれあい事業	核家族化が進む中、世代間交流が少なくなっている傾向にあります。子どもたちに高齢者を持っている知識や技術を継承し、子どもたちに心豊かな経験の機会を設ける。	5月～2月全8回	公民館他	小学生 高齢者	延べ226名	ふれあい事業 推進委員	①開講式、農園づくり(5月)実施済 ②いちご狩り(6月)実施済 ③川は友達わんぱく夏まつり参加(7月)実施済 ④工作教室(8月)実施済 ⑤農園収穫祭(9月)実施済 ⑥もちつき体験(12月)実施済 ⑦かるた大会・豆まき(1月)実施済 ⑧元気に雪遊び、閉講式(2月)実施済	子供と高齢者が事業を通じ世代間交流を行う事ができ、今年度は延べ226人の児童が参加してくれた。子どもの休日の居場所づくりと高齢者に対する尊敬の心を養うため、今後も多様な事業を実施を目指す。 次年度についても、朝活とのコラボを考え実施したい。	1 2 3 ④ 5
2	ひまわり大学	高齢期になってしまってもなお、生き生きと豊かに暮らすことが、高齢化社会における生涯学習のねらいです。学生が社会生活における役割を自覚し、それにふさわしい知識と教養を身につけ、自らの生きがいを創造しながら社会参加を図ることを目的とする。	5月～3月	公民館	高齢者	延べ257名	町内外の講師	①入学式(5月)実施済 ②講演8回(⑤・⑥・⑧・⑨・⑪・⑫・①・②月) ③見学旅行(7月)実施済 ④ひまわりオリンピック(10月)実施済 ⑤卒業式(懇親会・クラブ活動発表会)(3月)実施済	対象者である学生(高齢者)が関心のある身近な内容の講演や学生参加型の講演を取り入れ充実した内容だったと考えます。 ここ数年、入学生数の減少が懸念されており、今後も「ひまわり長寿会」の総会等に出向き積極的なPR活動を進めます。 2月講座時に次年度に向けたアンケート調査を実施。学生の声を集約(学級委員会時に報告済)し、次年度事業等の参考に活用していきます。	1 2 3 ④ 5

平成26年度 北竜町社会教育事業実施内容

社会教育

No.2

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
3	フットバス	初夏の風景を堪能しながら、散策路をウォーキングすることで、日頃の運動不足の解消と健康意識の高揚、健康づくりの習慣化を図る。	6/21	町内	成人	40人	教育委員会	みのりっち北竜から眺望の丘を経由し碧水生きがいセンターまでを往復するコース(約8km)	40人という多くの参加をいただいた。今回はいつもとは違うコースを考え、距離は8kmと短くなつたが参加者の体調等も考慮し、丁度よい距離だったのでと考える。	1 2 3 ④ 5
		秋の紅葉を堪能しながら、散策路をウォーキングすることで、日頃の運動不足の解消と健康意識の高揚、健康づくりの習慣化を図る。	10/4			40人		みのりっち北竜からイチイの森、眺望の丘を経由し共栄農道三叉路までを往復するコース(約6km)	前日からの天候不良のため、急遽コースを変更し開催した。前回より更に短くなつたが、参加者からは歩きやすくていい運動になったとの声が多く聞こえており、また同日に新米祭りも行っていて、楽しい1日になつた。	1 2 3 ④ 5
4	北海道ジュニアセミナー	中・高校生を対象に、青少年施設を利用して研修を行い、集団生活の中で少年活動に必要な知識技術を習得し、広域的な視点に立った少年活動のリーダー	7/30～8/1	ネイパル 砂川	中・高校生		北海道教育委員会	道央の中高生が一同に会し開催 ・団体研修 ・フィールドワーク	中学校に案内したがひまわり観光案内と時期が重なり参加者がいなかった。	① 2 3 4 5
5	パソコン教室	今や欠くことのできないパソコンの知識と技術を身につけ、その機能を活用し生活をより豊かで効率的なものとする。	12月	中学校コンピューター室	一般			①パソコンの基本操作 ②文字入力 ③ワープロソフトの基本操作 ④表計算ソフトの基本操作 ⑤インターネット	実施無し	① 2 3 4 5
6	読み聞かせ教室	幼少期から図書に感心を持ってもらうため、未就学児を対象とした、絵本などの読み聞かせ活動が大切である。また、親子のふれあい、子どもの情緒教育など家庭教育の観点からも絵本を通して母親を対象に技術を習得してもらう。	3/14	図書館	未就学児・保護者	13名 保護者8名	町内の指導者 子育て支援センター 大友優子氏	家庭教育を兼ねて幼児に合わせた絵本の選び方、読み聞かせ方法などを講習	幼少期の子を持つ親に、絵本の選び方や、講師の持つ読み聞かせの技術を継承することのできる貴重な場となっており、有意義な事業となつている。	1 2 3 ④ 5
7	北空知シニアリーダー研修会	北空知に住む、中・高校生が集まり交流を図るとともに、将来の青年リーダー的存在として必要な技術の習得、国際文化を学ぶことにより実践力を高める。	12/26～28	道立青年の家	中・高校生	1人 (北竜町から)	北空知社会教育関係職員	交流交換会、レクリエーション、グループワーク等のプログラムを通して研修を行う。	他市町の子供と交流する場を設けることにより、規則正しい生活と協調性を身に着けることが出来た。北竜からは1人の参加のみだったので、中学校と連携を図り、多くの参加を頂いた。	1 2 ③ 4 5
8	成人式	成人となったことを自覚し、社会人としての責任ある行動をしようとする新成人を祝福し激励する。	1/11	公民館	新成人等	該当者29名 中19名出席		式典、交流会	式典は厳粛に開催された。今年は、太鼓の他も成人者が保護者に向けて感謝のスライドショーを作成と上映を行い、アトラクションに力を入れ、式典の充実を図った。	1 2 3 ④ 5
9	洋裁教室	町内の成人女性を対象に、町内の指導者から洋裁の基本技術を学び家庭で役立てたり趣味づくりとして学ぶ	1/16 1/23 1/30	公民館	女性	延べ32名	町内の指導者 目黒玲子氏	洋裁教室	講師の丁寧な指導により、古着を使い洋服作りを実施した。和やかな雰囲気で、受講者それぞれが完成に向けて取り組んだ。	1 2 3 ④ 5

平成26年度 北竜町社会教育事業実施内容

社会教育

No.3

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
10	家庭教育学級	家庭と学校の相互理解と連携を図り、子どもに対する教育的役割を認識し、機能を十分に発揮できるよう学習機会を提供して家庭教育の振興を図る。	11/22	公民館	PTA会員 一般町民	44名	株式会社ヤクルト北海道支社 管理栄養士 佐藤彩良 氏	「見つめよう子どもの心 育てよう豊かな心」と題し、スポーツに取り組む子を持つ家庭に対し、成長期時の体作りに必要な食習慣を教わる。	成長期の子供たちに必要な栄養の取り方やスポーツに取り組む子供の食事等について、具体的な資料を用いて講じいただき、家庭での食の在り方にについて見つめなおす良い機会となった。	1 2 3 ④ 5
11	ヨガ教室	町民の学習活動に参加する機会を設け、家庭で役立つ健康づくりの知識や語学・料理等を学ぶと共に仲間づくりを行うきっかけをつくり社会参加を促す。	ヨガ 2/4 2/18 2/25	公民館	一般	23人	大矢江利子氏	ヨガ教室	大矢さん指導の下、効果の高いヨガは冬期間の運動不足解消ができ、幼い子供を持つ奥様方に人気の事業となっており、ヨガを続けていきたいとの声も聞こえている。	1 2 3 ④ 5
12	レディーススクール 「英会話教室」「料理教室」	英会話 2/25 2/27 3/4	公民館	女性	延べ16名	町内在住 ALT トレントィーノ・ ジョーシル・ カンピアド氏	・日常生活での簡単英会話等	昨年度に引き続き、女性教室として開講した。少人数の開催ではあったが、講師であるセル氏の指導により良い雰囲気の中、実施することが出来た。	1 2 3 ④ 5	
13	生きがいセミナー	高齢者が生きがいを持ち、社会参加をし活躍できるよう、いろいろな知識や技術を身につけることによって、家庭や地域での役割が見出され高齢者の生きがいが助長される。	2/19 2/26 3/5	公民館	高齢者	延べ42人	にちおん歌謡 音楽学院講師 河岸利喜男氏	カラオケ教室	今回で10回目を迎えたこの事業は、講師である河岸先生の人気とわかりやすい指導で生徒からは信頼の高い事業となっている。次年度も引き続き、開催を検討する。	1 2 3 ④ 5
14	パソコンヘルプデスク	パソコンの知識と技術を身近なものにするため、日頃の疑問に答える場を提供する。	通年	公民館	一般	延べ20人程度	教育委員会及び地域指導者	①パソコンの基本操作 ②文字入力 ③ワープロソフトの基本操作 ④表計算ソフトの基本操作 ⑤インターネット	左記の基本的操作を中心に、実際にパソコンを用いて実演する。	① 2 3 4 5
15	学校開放事業	町民の学習活動及びコミュニティづくりの場として、学校施設を町民の利用に供する。	通年	小・中学校	一般			パソコン教室、スポーツ教室	実施無し	① 2 3 4 5
16	各種指導者育成講座	北海道教育庁等が主催する各種指導者育成事業に、自ら参加を希望する人に助成を行い、生涯学習振興のために指導者を育成し人材活用を図る。	通年		一般				実施無し	① 2 3 4 5
17	子ども会育成連絡協議会	青少年の心身共に健全な育成を図るために、町内会の子ども会により構成。	通年	改善センター・公民館他	成人・小学生	延べ105人	ふれあい事業 推進委員 商工青年部 北空知教委職員等	・ わんぱく夏祭りへの参加(実施済) ・ 子ども会リーダーキャンプの実施(実施済) ・ かるた大会の実施(実施済) ・ リーダー育成講習会の実施(実施済)	4年～6年生を対象としたリーダー育成講習会は、12名の参加があった。参加者はいつもとは違う環境に置かれながらも、その中で自分の個性を發揮し、他市町の子ども達と交流している姿が見て伺えた。	1 2 3 ④ 5

平成26年度 北竜町社会教育事業実施内容

社会教育

No.4

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
18	子ども朝活体験事業	子どもの生活リズムが乱れがちな長期休業中における午前中の望ましい生活習慣の定着を目的に、学習や運動、体験活動等を企画し、実施する。	夏休み・冬休みの長期休業中	公民館	小学生	延べ74名	教育委員会 ふれあい事業推進委員 大友優子先生 牛田克彦先生 チームND	・「ラジオ体操会」7/30～8/1 実施済 ・「おはなし会」8/5 実施済 1/16 ・「工作教室」8/7 実施済 ・「体験学習」1/17 実施済 ・生活リズムチェックシートの実施	今年度初めての事業開催となった。小学生の長期休業期間中における生活習慣の定着をめざし、夏・冬休みに計7日間のプログラムを実施した。結果、子どもの生活習慣の見直しは勿論の事、「運動」「学習」「体験」の3つのプログラムを実施することが出来、貴重な事業となつた。	1 2 3 ④ 5
19	地域教育力・体験活動推進協議会	青少年の週末・放課後活動、ボランティア活動推進のため、各学校、関係団体により構成	通年	公民館	成人			・週末・放課後活動の支援 ・ボランティア活動の支援	子どもと高齢者のふれあい事業や、学校が主体となって活動している。	1 2 ③ 4 5
20	女性連絡協議会	町内女性活性化のため、各町内会代表により構成。	通年	公民館	成人			・町民文化祭チャリティーバザー実施 ・全町女性レクレーション大会	女性協役員の協力により計画2事業を順調に実施できた。	1 2 3 ④ 5
21	子ども見守りサポーター	地域の住民や団体の参画で子どもたちを犯罪や交通事故から守り、健やかな成長に寄与することを目的とする。	通年	町内一円	成人	登録者104名		・登下校時等の見守り、防犯パトロール及び交通安全啓発 ・情報交換	サポーター登録者数の減少により従来同様の活動が困難な状況になってきており、新しいサポーター登録者の募集を行い、引き続き活動を進める必要がある。	1 2 3 ④ 5
22	学校支援地域本部事業	学校と地域住民が連携し、教育機能が十分発揮できるよう人材バンクをつくり学習支援や環境整備など支援する体制を強化する。	通年	小学校 中学校	成人	人材バンク登録31個人・団体		・学習支援活動(スキー、習字の授業支援) ・部活動(野球、バレーボール等) ・登下校安全指導(見守りサポーター等) ・学校環境整備(庭木の剪定、花壇整備等) ・学校行事支援(運動会、学芸会の支援)	小中学校及びPTAと連携を図り、登下校時の見守り活動、学校環境整備を行った。今後も更なる連携を図りたい。	1 2 3 ④ 5

平成26年度 北竜町社会教育事業実施内容

文化芸術

No.5

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	ひまわりボランク(一人一能制度)	地域社会の中で様々な技術を有する人を学習ボラティアとして活用し、生きがいを育てると共に、学習を通じて人々が連帯感や町づくりなどの意識を育てる。	通年		一般			「他薦」「自薦」により登録。 住民ニーズに応じた登録台帳の作成、公民館講座、地域づくり講座などで活用を図る。	社会教育・社会体育事業等の指導をいただいている。	1 2 3 ④ 5
2	町民映画会(親子映画鑑賞会)	一つの作品を多くの人が同時に鑑賞し感動を共有することは意義があることである。ビデオ化されていない優れた映画の鑑賞機会を設け、町民の文化振興を図る。	11/2	改善センター	一般	90人 子ども50人 保護者40人		町民文化祭の初日に合わせ、親子で楽しめる映画鑑賞を行う。	人気のアニメ「トムとジェリー」を上映した。幼児・小学生低学年の児童とその保護者の来場が多く見られ、50分程度の短編作品のため、集中して鑑賞できた。	1 2 3 ④ 5
3	町民文化祭	日頃の文化サークルの活動の発表の場として、また町民の文化に対する意識の高揚を図る場として実行委員会をサポートする。	11/2 ～11/3	公民館・改善センター	一般	800人		・ 芸能発表 15団体 150人 ・ 作品展示 16団体 300人 ・ チャリティーバザーの実施	日頃の稽古や練習、作品作りの場として重要な行事となっている。また、今年は新たな団体も多く参加していただき、文化祭を盛り上げてくれた。	1 2 3 ④ 5
5	芸術鑑賞の旅	芸術・文化の知識を高めるために、優れた芸術に接する機会を設け、自主的文化活動の促進を図る。	3/21	北海道四季劇場	一般	11人		芸術文化施設の絵画、彫刻、音楽、劇公演等の鑑賞	今年度は、下記の児童・生徒芸術鑑賞の旅と同日に開催した。チケット代は個人負担となっているが、優れた芸術文化に触れれることから、多くの参加をいただいた。来年度は、高速利用を含め行程について検討する必要有り。	1 2 3 ④ 5
	児童・生徒芸術鑑賞の旅	芸術文化に触れる機会の少ない児童・生徒に対し、優れた芸術に接する機会を提供することを図る。			小学生～中学生	児童 18人 生徒 7人 計 25人		北海道劇団四季ミュージカル「CATS キャッツ」	児童生徒は普段見ることできないミュージカルを鑑賞できだと好評だった。鑑賞後に提出してもらった感想文を5月広報に掲載。	1 2 3 ④ 5

平成26年度 北竜町社会体育事業実施内容

社会体育

No.6

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
1	キッズエアロビクス	近年、子供達の運動能力の低下等が問題視されている。それらを改善するために幼児期よりしっかりとした運動をする事により、運動神経の基礎をつくっていくことを助長する。また、集団で行うことにより協調性などの精神面の成長も助長する	4/18 5/16 6/20 10/24 全4回	和保育園	保育園児 幼児と その親	延48名 延20組	パーソナルトレーナー 旭川市 山田 道代氏 子育て支援 センター職員	和保育所において保育園児と子育て支援センター主管による「ピカピカキッズ」事業参加親子を対象とした運動教室。 キッズエアロビクス①②③④ ALT トレンティーノ・ジョーシル氏参加	園児達は、元気に楽しみながら終始集中して参加してくれ、リズム感や運動を取り入れ、充実した内容で実施出来た。また、一般の参加親子も園児達に交じり、一緒に楽しみながら参加することが出来た。また、今年度最後のミニ運動会を止め、未満児クラスを取り入れた。	1 2 3 ④ 5
2	キッズアクア	水中ゲームなど水と親しむことにより、幼児期より水運動の関心を高め、水の楽しさや水難事故の防止を図り、かつ、心の発育や健康、体力づくりの推進を図る。	7/16 7/23 7/28 全3回	B&G海洋 センター プール	保育園児	延74名	B&Gアクア インストラクター 藤信清彦氏	和保育所園児向けにアクアリズム運動を用いて、レクリエーション運動を実施。	顔をつけたり、浮いてみたりと水と親しみ、楽しそうな表情を見せてくれた。水遊びを通して、知らず知らずの内に心肺機能を高める運動要素を取り入れ、体力づくりの推進を図ることが出来た。	1 2 3 4 ⑤
3	初心者スキー教室	児童数の減少と余暇時間の過ごし方の変化に伴いスキーをする機会が減ってきたように思われる。幼い頃からスキーに親しみ、興味を抱かせることによって、冬の健康づくりとスキー人口の底辺拡大を図る。	1/4 (午前) 1/5 (午前) (午後) 全3回分	町 営 スキー場	6歳～8歳までの児童と その親	保育園児 7名 小学1年生 8名	スキー指導 委員会指導員 2日間延べ 17人	○ スキーの履き方、脱ぎ方 ○ スキーを履いての歩行 ○ リフトの乗り方 ○ 滑り方	今年度も三が日を除くため、昨年同様に2日間日程にて開催。2日目に午後の部を設け、3日間日程とした。町内限定しているが、スキー場のチラシを見て、町外の子も当日来たので、注意が必要。熱心な指導により滑られない子も見る上達していった。次年度も指導員の確保を第一に考慮し、実施していくたい。	1 2 3 4 ⑤
4	B&G海洋レクリエーション体験	子ども達が普段体験する機会のない「海洋性レクリエーション体験」を通して、水遊びの楽しさを感受させ、水難事故の防止を図り、子どもが成長する過程で必要な体験の一助と、また、集団活動での決まりや礼節、道徳心を学ぶことにより、社会性を習得させ、豊かな人間性の養成	7/26	滝川市B&G 海洋センター	小学生 高学年	小5 2名 小6 6名 計8名	滝川市B&G 海洋センター職員 北竜町B&G海洋センター指導者会 藤信清彦氏 教育委員会職員	○ カヌー・ローボート教室 ○ 礼節や集団行動の指導 ○ 洗浄・格納 ○ 海洋性レクリエーション体験 ※ 子ども会リーダーキャンプ事業行程プログラムの一つとして実施。	今年度、B&G海洋セミナーが中止となったことから子ども会リーダーキャンプ事業と合同にて実施。子ども達は全員カヌーなど初めての体験にも積極的に参加してくれ、水遊びの楽しさや水難事故の防止、普段出来ない貴重な体験が图られたものと考える。また、参加者からも好評であった。次年度においても自然の中で様々な体験が出来るよう検討し、実施していきたい	1 2 3 4 ⑤
5	初心者水泳教室	水泳に関しては、指導・練習なくして上達はしない。水に慣れ親しむところから、さらには水泳技術の向上を図ることにより、体力増進・水難事故の未然防止を図	7/29 7/30 7/31 午前 午後	B&G海洋 センター プール	小学生 低学年	延34名	B&Gアクア インストラクター 藤信清彦氏	対象が低学年であるため、初步的な実技指導を実施。(小学1・2年生) 1日1時間30分の教室。	顔を水につけられない児童や基礎が出来ていない児童に指導を行った。参加者は水に親しみ、見違えるほど上達をした。泳ぎの楽しさを知ってもらうことが出来た。	1 2 3 ④ 5
	中級者水泳教室				小学生 高学年	延38名		対象が高学年であるため、技術の向上を実技指導。(小学3年生以上) 1日1時間30分の教室	顔を水につけられない児童や基礎が出来ていない児童に指導を行った。参加者は水に親しみ、見違えるほど上達をした。泳ぎの楽しさを知ってもらうことが出来た。	1 2 3 ④ 5

平成26年度 北竜町社会体育事業実施内容

社会体育

No.7

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
6	水中レクリエーション大会	水中ゲームなど水と親しむことにより、海洋性スポーツへの関心を高めるとともに、健康づくりや体力づくりの推進を図る。	8/1	B&G海洋センター プール	小学生	30名	B&Gアカ インストラクター 藤信清彦氏	プール周辺のゴミ拾いをした後、数種類のレクリエーション競技を実施。	全学年が楽しめる内容とし、多くのレクが出来た。参加者から笑顔が見られ、楽しんでもらうことが出来た。高学年も低学年をまとめてくれ、充実した内容で実施が出来た。	1 2 3 ④ 5
7	ベースボールフェスティバル	野球を愛好するものが、野球を通して世代間交流と親睦を深めると共に地域スポーツの振興に寄与する。	8/18 ～ 8/26	町営 野球場	小・中学生 成人	5チーム 約100名	ボランティアスタッフ	ナイトリーグの開催。 全5試合。 試合球の提供。	ベースボールフェスティバル実行委員会の主催により、限られた期間で小学生から年配の方まで幅広い年齢層が交流をし、白熱した試合が開催された。	1 2 3 ④ 5
8	北竜町教育長旗争奪 北空知少年野球大会	少年が野球を通して技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な少年の育成を図る。	8/9 ～ 8/10	町営 野球場	小学生	8チーム	深川地区軟式 野球連盟審判 団	北空知各野球スポーツ少年団チームを招いて大会を実施。 トーナメント方式による対戦。	天候の心配もあったが、後援会の協力のもと、白熱した試合に歓声があがり、盛会の内に終了が出来た。開催にあたり、一部の参加チームは別大会の日程と重複しており、組合せや当日の勝敗により、各チームとの調整が必要となった。	1 2 3 4 ⑤
9	スポーツ少年団青少年交流事業	北空知管外の普段対戦する機会のない野球・バレーボール少年団チームとの親睦と交流により、心身の育成と社会性や豊かな人間形成の育成、技術向上に努める。	7/31	旭川市	野球 少年団	旭川市 30名 北竜町 23名	北竜野球少年 団指導者外	旭川市春光台ジャガーズ野球少年団 チームに訪問し、交流試合を実施。 バス代助成・スポーツドリンクの提供。	普段対戦する機会のない旭川市へ訪問。交流試合を通して他町の同年代児童に刺激を受け、指導者や後援会にとっても良い機会となつた。少年団からも高い評価を頂いた。	1 2 3 ④ 5
			9/13	岩見沢市	バレーボー ル少年 団	他町 45名 北竜町 19名	北竜バレーボー ル少年団指導者 外	岩見沢市立日の出小学校にて岩見沢 日の出イーグルス・長沼キッズ・音江JCE バレーボール少年団と交流試合を実施。 バス代助成・スポーツドリンクの提供。	普段対戦する機会のない岩見沢市へ訪問。団員全員で遠征に行く機会がないなか、中学年から他少年団との交流を深めることができ、指導者や後援会にとっても良い機会になったと少年団から評価を頂いた。	1 2 3 ④ 5
10	親子パークゴルフ教室	コミュニティスポーツとして広く親しまれてきたパークゴルフを少年たちにも広め、自主性、社会性を培うとともに、パークゴルフを通してスポーツの振興を図る。	10/13	ひまわり パーク ゴルフ場	小・中学生 とその 親	児童・生徒 17名 保護者 12名	空知教育局 教育支援課 宮坂主事 教委職員	現地集合→開講式→PG場でのマナーについて→基本技能習得(スイング等)→親子PG大会。 参加者全員に昼食のサービス。	体育の日開催の恒例事業。募集に苦慮したが、電話等も含め参加者を募ったところ、昨年より多くの参加を頂き、パークゴルフに親しみを持ってもらえるよう教室を開催出来た。	1 2 3 ④ 5
	「体験の風をおこそう」 パークゴルフ・ニアピン ・ストラックアウト大会	子どもたちの健やかな成長に体験がいかに重要であるかを広く家庭や社会に伝え、体験活動の推進を図る。						「体験の風をおこそう」運動推進協議会の協力を頂き、親子PG教室終了後に3大会を開催し、各大会ごとに賞状・メダルの授与を実施。	恒例事業。普段体験出来ない競技に親子で楽しんでくれ、充実した内容において実施が出来た。また、今年度は教委職員の人数だけ、子どものみの参加を認め、開催をした。	1 2 3 ④ 5

平成26年度 北竜町社会体育事業実施内容

社会体育

No.8

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
11	北竜ライオンズクラブ杯 小学生バレー・ボール大会	北空知管内の小学生バレー・ボールチームの親睦と交流を図り、強健な心身の育成と技術の向上に努める。	10/26	改善センター	小学生	7チーム	各チーム指導者外	深川地区各バレー・ボールスポーツ少年団チームを招いて大会を実施。	指導者や後援会の協力を頂き、ケガもなく無事に終了することが出来た。沼田町が式典のため、欠場したことにより、不公平感が出ぬよう当日の朝、抽選を行った。次年度も他町の通学合宿など開催時期について近隣の状況を確認する必要がある。	1 2 3 ④ 5
12	防犯少年剣道大会	剣道を通して少年の健全育成、活力推進を図る。	未実施	一	小・中学生	一	一	剣道少年団々員数の減少により未実施	一	① 2 3 4 5
14	レツツゴー体育の日 パークゴルフ大会	誰でも気軽にできるパークゴルフを通して、スポーツに対する関心を高め、体力の維持増進とともに健康で明るく豊かな家庭生活の一層の向上を図る。	10/13	ひまわりパークゴルフ場	成人	男32名 女12名 計44名	教委職員	3コース27ホールによるストロークプレー、男女別個人戦にて実施。 参加者全員に昼食のサービスを実施。	親子PG教室との併設開催のため、3コースのみで実施。昨年度より参加者は少なかった。	1 2 3 ④ 5
15	ひまわりオリンピック	高齢者になると集団で協力して活動する機会が少くなりがちである。そこで、仲間と目的を持ち気軽に楽しく運動できることがこれから的生活にますます重要になってくる。仲間とともに楽しみ交流を図る。	10/9	改善センター	高齢者	56名	スポーツ推進委員	7種目のレクリエーションと大抽選会の実施。飲み物のサービス	今年度、参加者を増やす取組みとして、豚汁の配布を止め、種目を一つ減らし、抽選会を行った。またチラシも全戸配布したところ、昨年より10名以上の参加者が増え、競技に抽選会に楽しんでくれていたと思われる。今後も内容を見直しながら参加者を増やす工夫が必要である。	1 2 3 ④ 5
16	全町女性レクリエーション大会	町内女性が一堂に会し、相互の親睦と融和を図りレクリエーションで楽しみながら交流を図る。	11/30	改善センター	女性	143名	スポーツ推進委員	6種目のレクリエーションと大抽選会の実施。	昨年より多くの参加を頂いた。今年度種目を変更し、開催をした。参加者は楽しみながら体を動かしていたが、競技の安全性も考慮しつつ、内容を見直しながら参加者を増やす工夫が必要である。	1 2 3 ④ 5
17	ライオンズクラブ杯争奪全町女性 ミニバレー・ボール大会	気軽にできるミニバレー・ボールを通じて、中高齢者が明るく豊かな生活が送れるよう、体力の維持増進とスポーツへの関心を高める。	1/25	改善センター	成人	8チーム 66名	スポーツ推進委員	参加チームを2クラス(A・B)に分け優勝を争う。	昨年同様8チームにてケガ人もなく、無事に終了することが出来た。年齢層も高くなっていくが、チーム数を維持していくことが重要であり、近隣町内会との連合など声かけが必要。	1 2 3 ④ 5

平成26年度 北竜町社会体育事業実施内容

社会体育

No.9

No.	事業名	趣旨(平成26年度推進目標)	期日	場所	対象	参加数	指導者	実施内容	反省事項	評価
18	スポーツ教室	誰もが気軽にできるスポーツとして提供することにより、健康な身体づくりを助長し、あわせて体力向上を図る。	2/26	改善センター	成人	男39名 女 4名 計43名	スポーツ推進委員	冬場の運動不足の解消を目的とし、誰もが気軽に参加できるような種目の軽運動を実施。	昨年に引き続き、バスケットボールを行い、女性も含め昨年より多くの青年・中年層の参加を頂き、実施が出来た。次年度については、意見も取り入れ、多くの参加者が来て頂けるよう新たなスポーツを検討したい。	1 2 3 ④ 5
19	ストレッチ教室	適度な運動を継続して行うことにより冬期間の運動不足解消・体型維持・血行促進といった効果を生み、参加者が健康的で生き生きとした生活が維持できるよう助長する。	2/20 2/27 3/ 6 全3回	改善センター	成人	男女 延35名	パーソナルトレーナー 旭川市 山田 道代氏	疲労回復・障害予防等のストレッチ 内容により実施。	若い世代の母親を中心だったが年配の方も来てくれ、盛況であった。教室名を変えるなど、様々な世代の方に来てもらいやすいようチラシの工夫や実施日の検討が必要である。	1 2 3 ④ 5
20	教育長杯ゲートボール大会	高齢者が気軽にできるゲートボールを通じて、健康で明るく豊かな生活を目指し、スポーツに対する関心を高め体力の増進と地域の仲間づくりを図る。	未実施	—	—	高齢者	—	ゲートボール愛好者の減少により未実施	ゲートボール人口が減少しつつも通年練習や町外へ試合に出場をしている現状。しかし、町内大会を開催するまでには至っていない。	① 2 3 4 5
21	スポーツ少年団本部	少年がスポーツを通じて技術の向上、チームワークの大切さなどを会得すると共に体力の増進、強い精神力を養い、心身共に健全な青少年の育成を図る。	通年	真 小 グラウンド 改善センター	2団体	野 球18名 バレー15名 計 33名	木村先生 齋藤先生 橋本義行 井口純一 小野 嵩 杉山恵理子 佐藤 幸子	少年団活動への支援。 (野球・バレー・ボール)	昨年度より実施している青少年の交流事業において、今年度よりバレーボール少年団も管外へ赴き実施。また、バレーボール少年団「ラゴンキッズ」が全道3回の出場。功績を讃え、北竜町スポーツ奨励賞を受賞。	1 2 3 ④ 5
22	夷やかラジオ体操会	ラジオ体操は何の気兼ねも無く「誰でもできる体操」として一般的に広く知られていることから、早朝のラジオ体操を生活習慣のひとつとして活用してもらい健康増進を図る。	7/1 ～ 9/3	公民館前	全町民	30名	谷本かよ子 ラジオ体操 愛好者	ラジオ体操会への支援。 本年度実施期間(92日間) 実施日数 79日 雨天中止日数 13日	7月1日～9月30日までの3ヶ月間の雨天を除き、毎日実施。最終日に参加賞として、飲物等の配布。(参加者にラジオ体操カードを配布)	1 2 3 ④ 5

1. 外部評価（活動評価委員）意見総評

1) 学校教育の充実について

- ・全国学力・学習状況調査では、小中学校とも全国・全道平均をかなり上回る結果であった。このことは、各学校が調査の結果をもとに分析をしつかりを行い課題等に対しての改善策を実施しているものと評価できる。
- ・郷土の愛着を育むため、中学校では世界のひまわり栽培と観光案内（ひまわりガイド）の実施、小学校では総合学習での野菜栽培、社会科副読本を作成し、特色ある教育を推進しており、継続して実施していただきたい。
- ・子どもたちの学習環境については、教材備品等の充実を図って来ているが、今後も施設の修繕等を含め計画的な教育環境の整備・充実に努めていただきたい。
- ・スクールバスは、地域公共交通として住民混乗方式で運行しているが、通学専用として運行することが望ましい。

2) 生涯学習の推進について

- ・社会教育計画など策定し計画に基づき事業を着実取り組んでいる。少子高齢化、人口減少等の課題に向けた生涯学習の推進に努めていただきたい。

3) 社会教育の充実について

- ・高齢者が増加するなかで「ひまわり大学」や「子どもと高齢者のふれあい事業」のように高齢者の参加や活用などをはかり、事業の充実を図っていただきたい。
- ・文化芸術の鑑賞機会や各サークル活動の支援や発表する場の提供など、教育委員会のサポートを継続して行っていただきたい。
- ・各種スポーツ教室や大会等において、参加者を増やす工夫がみられるが、更に町民の健康増進とコミュニケーションづくりのため、ニーズに合った事業の実施に努めていただきたい。
- ・女子バレースポーツ少年団については、全道・北北海道大会に出場し、参加助成を行っており、更にその成果に対して、北竜町スポーツ賞（奨励賞）として表彰している。このことは、スポーツの振興と団体の育成につながるため継続して実施していただきたい。
- ・各種の教育施設は、老朽化し修繕が必要な箇所が見られるので、計画的な整備に努めていただきたい。